



不登校の児童生徒の保護者のみなさんにお便りします

やまびこ



兵庫県立但馬やまびこの郷
<http://www.t-yamabiko.asago.hyogo.jp/>

おいでよ！但馬やまびこの郷へ

自然がいっぱいの但馬やまびこの郷で過ごしてみませんか？当所は年間 35 週の受け入れをしています。楽しい体験活動の一部を紹介します。

料理を作ろう

みんなで昼食を作ります。「おいしく作ろう」と、自然に体が動き始めます。包丁さばきが上手な子、フライパンで炒めるのが得意な子、分量を量るのが得意な子など、活動を通して、子どもたちそれぞれのよさを見つけることができます。

焼きリンゴ、おいしいよ！



地域の方は、とても優しく教えてくれるよ！



地域と交流しよう

活動範囲を少し広げて、地域に出かけていきます。田植え体験、保育体験、介護体験などを通して、地域の人の温かい人柄に触れます。心が癒されるだけでなく、自分の進路について考える機会にもつながります。

やまびこの郷から一歩踏み出すと、すばらしい出会いが待っています。

将来は、保育士になりたいなあ！



みんなの励みで、元気が出てきたよ！



遠くへ出かけよう

活動も4日目に入ると、さらに活動範囲を広げていきます。登山をしたり、カヤック体験をしたりといろいろなことに挑戦します。くじけそうになることもありますが、仲間同士で励まし助け合うことや、スタッフが寄り添いかわかることで見事に乗り越えます。その中で得た達成感や満足感は、必ず子どもたちの次の一歩につながります。

スーさんのちょっとセミナー



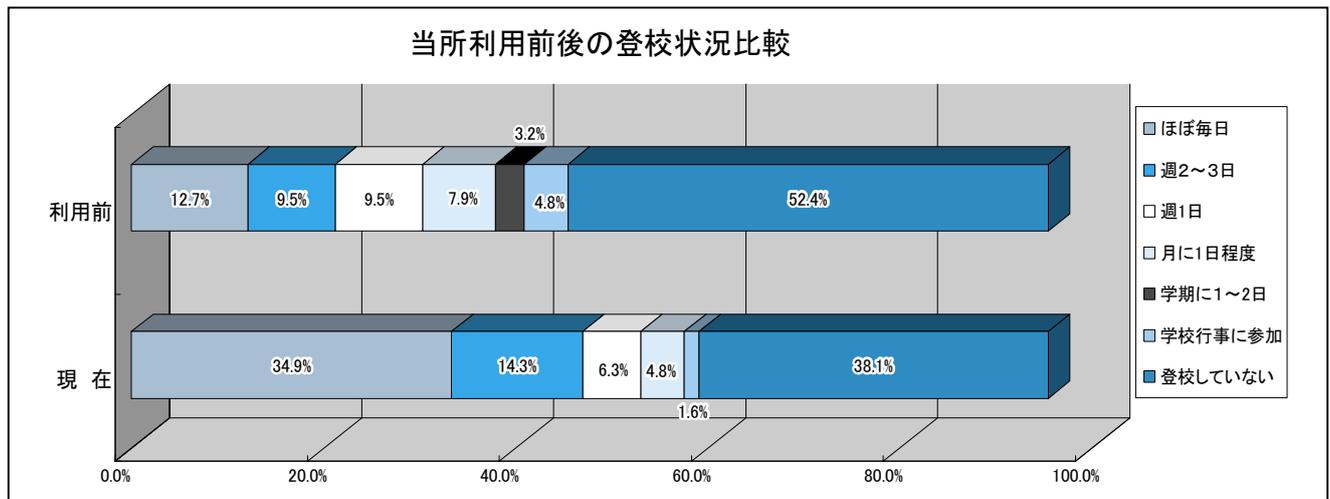
「家庭での子どもへの働きかけ」連載その5

僕も私も出来るんだ!

県立但馬やまびこの郷所長 杉村省吾

今回は登校準備期のうちの長期欠席による自尊心の低下の状況から、子どもたちが自己像を修正していく過程についてお話ししましょう。

平成21年度に、当所で宿泊体験活動をした不登校の児童生徒122名の保護者にアンケート調査を実施しました。下のグラフは、そのうち、回答のあった63名(回答率51.6%)の再登校状況を図示したものです。当所利用前の「ほぼ毎日登校」は12.7%であったのが、利用後は34.9%まで増加しています。また利用前は「全く登校していない」割合は52.4%であったのが、利用後には38.1%に減少しています。すなわち当所での宿泊体験によって、「学校行事に参加」から「ほぼ毎日登校」まで含めると61.9%の児童生徒が再登校していることがわかります。



入所児童生徒の再登校状況

それでは、なぜ4泊5日の宿泊体験をリピートすることによって、子どもたちが再登校していくのでしょうか。それは、次の共同生活を通じての自信の獲得と低い自己像の修正がなされるからです。

共同生活での自信の獲得

やまびこの郷へ入所してくる子どもたちは、スタッフや仲間たちと経験する一週間のプログラムの中で、さまざまな達成感や成就感を獲得していきます。例えば調理の場面では、スタッフから頼まれて快く素材を運んだり、調味料を適切に計量でき



たりすると、「いい味になったね」などとスタッフからタイミングよく褒められます。自主選択での創作活動で、七宝焼きや陶芸の作品が焼きあがったときにも「すてきね」と褒められます。バスケットボールでロングシュートが入ったときにも「ナイスシュート」と声がかかります。サイクリングで高い峠を登り切ったときにも「疲れたけどやったね」とねぎらわれます。このように子どもたちは、人から認められ、褒められ、賞賛される体験の積み重ねによって自己評価を高め、自尊感情を獲得していきます。褒められることによって自己受容ができるようになると、他者の作品などにも「うまいなあ」と他者受容の言葉を自然に発することができるようになり、次第にコミュニケーションスキルを体得していくこととなります。

低い自己像の修正

入所者たちは、上記のような成功体験や成就体験を経て、次第に自信を獲得していきます。すると、次第に自分自身を素直に受け容れる（自己受容する）ようになり、それに伴って他者受容が可能となってきます。その結果、プログラムの集団行動を通じて、われわれ意識や一体感が芽生え、連帯感・協調性が養われて、そこから「自分はだめな人間だ」という低い自己像が修正されていきます。特に創作活動でのオブジェなどの共同製作やスポーツ活動での両軍に分かれてのチームゲームなどで連帯感が生まれやすく、その課題の知識や技術が期待されたり賞賛されたりすると、その場が本人の居場所に転じていきます。

したがって、ご家庭でも

「5つ怒って、3つグチ、残る2つは文句だけ」から
「5つ教えて、3つ褒め、2つ叱ってよい子育てる」

というかわり方にシフトしてみてもいいでしょうか。



(七夕飾りの共同製作)

まずはお電話ください



やまびこの郷は4泊5日の入所になっているんですが、1泊2日では利用できないのでしょうか

子どもは、まだ入所できるような状態ではないのですが、相談だけでも聞いていただけますか

相談だけでも受け付けています。また、入所以外にも「地域やまびこ教室」や「やまびこ親の会」もあります。一度、お問い合わせください

※どんな些細な相談でも受け付けていますので、一人で抱え込まずに相談することからスタートです。まずは、お電話ください。

兵庫県立但馬やまびこの郷
TEL 079-676-4724



お便りの 紹介

やまびこの郷には、うれしいお便りがたくさん届きます。
子どもたちや保護者の声がやまびこのスタッフの元気の源です！

やまびこの郷のスタッフのみなさんへ

保護者より

あつという間に夏がやってきました。母親として、今だにあのドラマティックで感動的な中学校の卒業式が美しい思い出として残っています。

現在、進学してから毎日学校に通っています。しんどい日もあるみたいですが、友達もできて、自分なりのペースで勉強も頑張っています。一番驚いたのは、高校生活が始まってから現在に至るまで、毎朝、六時に自分で起床してきます。

私としては、無理せずゆっくりでいいから、心も体も元気でエネルギーみなぎり、徐々になりたい自分を見つけてほしいなと思っています。

こんなに変わったのは、お世話になったスタッフのみなさんの心のこもった指導のおかげだと、感謝しております。そして、学校側とも綿密に連携をとってくださるなど、たくさんのご支援をしてくださったおかげだと感謝の限りです。

やまびこは、息子の青春そのものです。私自身、スタッフの方々にたくさん励まされたとき、何度も救われました。そして、キラキラとした素直な気持ちを取り戻せました。

良いスタッフのみなさんに出会わせていただいたことを宝として、これからも頑張っていきたいと思います。

どうかお体を大切に、スタッフの方々のますますのご活躍・ご発展を心よりお祈り申し上げます。

やまびこ情報

地域やまびこ教室

地域やまびこ教室では、但馬やまびこの郷のスタッフが、みなさんの街に出かけ、いろいろな体験活動や交流会などを行います。きっと、新しい発見や出会いがあります。いろんな人と楽しく活動してみませんか。

- 第1回： 8 / 9 (月) 県立神出学園
- 第2回： 8 / 12 (木) 伊丹市立労働福祉会館・青少年センター
- 第3回： 8 / 17 (火)
～ 18 (水) 明石市立少年自然の家
- 第4回： 9 / 22 (水) 県立山の学校
- 第5回： 11 / 26 (金) 県立淡路文化会館
- 第6回： 2 / 8 (火)
～ 9 (水) 県立兎和野高原野外教育センター



やまびこ親の会

但馬やまびこの郷では、不登校の子どもを持つ保護者を対象に、今年度も「やまびこ親の会」を1泊2日で実施します。

1日(または、半日)の参加も可能です。一緒に語り合い、一緒に考えてみませんか！

【期 日】平成22年8月28日(土)～29日(日)

【会 場】県立但馬やまびこの郷

